

# アスファルト混合物配合設計報告書

混合物：再生密粒度アスコン(13)（Eコフォームト<sup>®</sup>）

2025年 2月

鳥取アスコン 株式会社

# アスファルト混合物配合設計総括表

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(13)(ECOフォームト<sup>®</sup>)

試験者 大西 康夫

## 1. 使用材料の種類及び产地

材料の種類		製造会社名		産地		材質	
碎石6号		坂田碎石工業株式会社		岡山県久米郡久米南町		硬質粘板岩	
再生骨材		鳥取アスコン株式会社		鳥取県鳥取市古海		再生骨材	
碎石7号		坂田碎石工業株式会社		岡山県久米郡久米南町		硬質粘板岩	
碎砂		坂田碎石工業株式会社		岡山県久米郡久米南町		硬質粘板岩	
粗砂		住若海運株式会社		佐賀県唐津市		天然砂	
細砂		有限会社仁徳砂利		鳥取市伏野		天然砂	
S t A s ( 6 0 - 8 0 )		E N E O S 株式会社		岡山県倉敷市水島		S T A s 6 0 - 8 0	
R J - T		竹中産業株式会社		東京都千代田区鍛冶町		大西 康夫	

## 2. 使用骨材の配合割合

材料	碎石6号	再生骨材	碎石7号	碎砂	粗砂	細砂						計
配合割合%	9.0	70.0	3.5	7.5	6.5	3.5						100.0

## 3. 合成粒度

ふるい目	53 mm	37.5	31.5	26.5	19	13.2	9.5	4.75	2.36	1.18	600 $\mu\text{m}$	300	150	75
通過質量百分率%					100.0	99.9		68.1	47.7		29.6	19.0	9.5	7.2
粒度範囲	上限				100	100		70	50		30	21	16	8
	下限				100	95		55	35		18	10	6	4

## 4. 設計アスファルト量の決定

試験項目	最適AS量 (%)	密度 (g/cm <sup>3</sup> )	理論密度 (g/cm <sup>3</sup> )	空隙率 (%)	飽和度 (%)	安定度 (kN)	フローアンペア (100 cm)	残留安定度 (%)
試験値	5.6	2.362	2.457	3.9	76.6	9.24	32	89.7
基準値	上限	7.0	—	6	85	—	40	—
	下限	5.0	—	3	70	4.90以上	20	75.0以上

※ マーシャル試験の結果はグラフより求めた値である

# 骨材試験成績表

目的 配合設計

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(13)(ECOフォームト<sup>®</sup>)

試験者 大西 康夫

## ふるい分け試験

	ふるい目の開き	碎石6号	再生骨材	碎石7号	碎砂	粗砂	細砂			
通過質量百分率%	53mm									
	37.5									
	31.5									
	26.5									
	19	100.0								
	13.2	98.9	100.0	100.0		100.0				
	9.5									
	4.75	5.2	66.8	95.1	100.0	99.4				
	2.36		44.5	12.0	92.2	88.1	100.0			
	1.18									
	600μm		30.2		35.5	35.2	99.0			
	300		20.3		20.2	12.3	71.6			
	150		12.0		11.1	2.8	4.1			
	75		9.1		9.1	1.0	1.1			

## 性状試験

試験項目	碎石6号	再生骨材	碎石7号	碎砂	粗砂	細砂			
密度	表乾	2.682	—	2.674	2.646	2.592	2.589		
	かさ	2.662	—	2.648	2.602	2.556	2.545		
	見掛け	2.717	—	2.718	2.722	2.651	2.661		
吸水率 / 水分量 %	0.76	—	0.98	1.70	1.41	1.72			
すりへり減量 %	11.1	—	—	—	—	—			
安定性 %	0.9	—	1.5	1.5	5.3	1.3			
微粒分量試験 %	—	1.7	—	—	—	—			
軟石含有量 %	0.6	—	—	—	—	—			
偏平細長石片 %	1.0	—	—	—	—	—			
単位容積質量	1.554	—	1.501	1.742	1.654	1.547			
粘土塊量 %	0.03	—	—	—	—	—			
最大密度	—	2.491	—	—	—	—			
旧As含有量 %	—	4.50	—	—	—	—			
旧As針入度	—	22	—	—	—	—			
圧裂係数	—	1.34	—	—	—	—			

## 骨材粒度設計（修正後）

## 目 的 配 合 設 計 ( 室 内 )

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(13)(ECOフォームト<sup>®</sup>)

試験者 大西 康夫

### 3. 使用予定骨材の合成粒度 修正後

骨 材		碎石6号	再生骨材	碎石7号	碎砂	粗砂	細砂		
配 合 率 A %		9.0	70.0	3.5	7.5	6.5	3.5		
通 過 質 量 百 分 率 B %	53 mm								
	37.5								
	31.5								
	26.5								
	19	100.0							
	13.2	98.9	100.0	100.0		100.0			
	9.5								
	4.75	5.2	66.8	95.1	100.0	99.4			
	2.36		44.5	12.0	92.2	88.1	100.0		
	1.18								
	600 μm		30.2		35.5	35.2	99.0		
	300		20.3		20.2	12.3	71.6		
	150		12.0		11.1	2.8	4.1		
	75		9.1		9.1	1.0	1.1		

#### 4. 骨材の密度による配合率の補正

# 骨材の粒径加積曲線図

目的 配合設計（室内）

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(13)(ECOフォームト<sup>®</sup>)

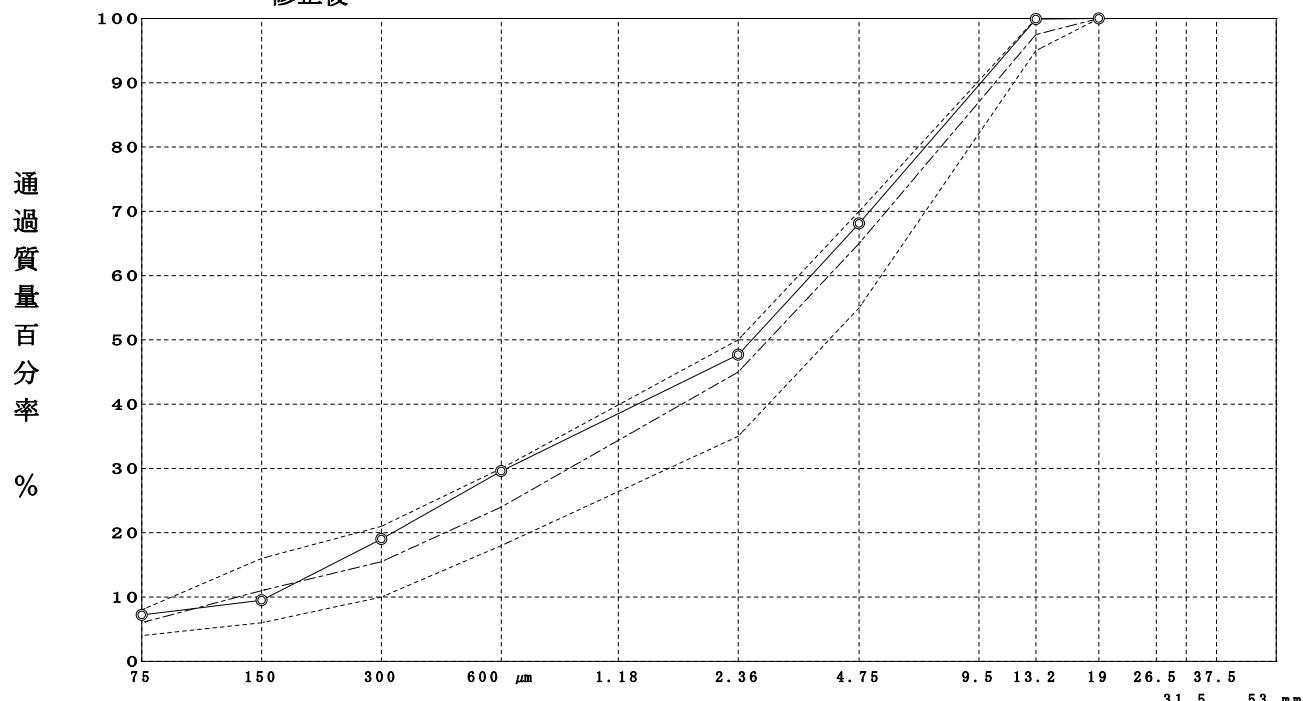
試験者 大西 康夫

## 5. 合成粒度

ふるい目	合成粒度		目標粒度	粒度範囲
	作図法	修正後		
53 mm				
37.5				
31.5				
26.5				
19	100.0	100.0	100.0	100
13.2	99.7	99.9	97.5	95 ~ 100
9.5				
4.75	68.3	68.1	65.0	55 ~ 70
2.36	45.5	47.7	45.0	35 ~ 50
1.18				
600 $\mu\text{m}$	27.5	29.6	24.0	18 ~ 30
300	16.9	19.0	15.5	10 ~ 21
150	4.0	9.5	11.0	6 ~ 16
75	2.7	7.2	6.0	4 ~ 8

## 6. 粒径加積曲線図

----- 粒度範囲  
----- 目標粒度  
——— 修正後



ふるい目

# 設計圧裂係数への調整（添加剤量）

目的 配合 設計

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(13)(ECOフォームト<sup>®</sup>)

試験者 大西 康夫

試験項目	材料名	再生骨材			規格値
通過質量百分率%	53 mm				
	37.5				
	31.5				
	26.5				
	19				
	13.2	100.0			
	9.5				
	4.75	66.8			
	2.36	44.5			
	1.18				
	600 μm	30.2			
	300	20.3			
	150	12.0			
	75	9.1			
旧アスファルト含有率 %	4.50				3.8以上
圧裂係数 MPa/mm	1.34				1.70以下
微粒分量試験による損失量 %	1.7				5以下
最大密度	2.491				

## 再生添加剤の性状

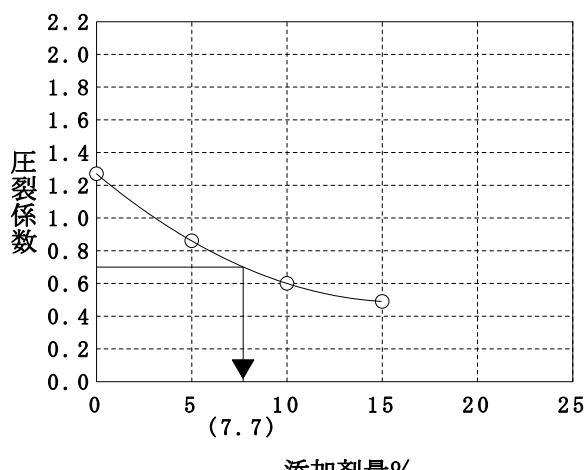
項目	試験値	標準的性状
動粘度 (60°C) mm <sup>2</sup> /s	88.01	80~1000
引火点 °C	306	250以上
薄膜加熱後の粘度比 (60°C)	1.09	2以下
薄膜加熱質量変化率 %	-0.25	±3%以内
密度 (15°C) g/cm <sup>3</sup>	0.941	

## <添加剤量と圧裂係数の関係>

添加剤量	0.0	5.0	10.0	15.0
圧裂係数	1.27	0.86	0.60	0.49

設計圧裂係数	0.70	(規格値 0.60 ~ 0.80 )
--------	------	--------------------

## 設計圧裂係数への調整



## <設計圧裂係数への調整結果>

設計添加剤量	7.7
設計添加剤量 (対混合物)	0.25

# 理 論 最 大 密 度 計 算 表

目的 配合 設計

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(13)(ECOフォームト<sup>®</sup>)

試験者 大西 康夫

骨材の種類	A 骨材のみ					B(旧アスファルト含む)		
碎石6号	9.0					9.00		
再生骨材	70.0					73.30		
碎石7号	3.5					3.50		
碎砂	7.5					7.50		
粗砂	6.5					6.50		
細砂	3.5					3.50		

# 理 論 最 大 密 度 計 算 表

目 的 配 合 設 計

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(13)(ECOフォームト<sup>®</sup>)

試験者 大西 康夫

① 骨材の種類	② 配合率(%)	③ 骨材の密度(g/cm <sup>3</sup> )			④ 計算に用いる密度	⑤ ②/④
		表乾	かさ	見掛け		
碎石6号	9.00	2.682	2.662	2.717	2.717	3.312
再生骨材	73.30				2.491	29.426
碎石7号	3.50	2.674	2.648	2.718	2.718	1.288
碎砂	7.50	2.646	2.602	2.722	2.722	2.755
粗砂	6.50	2.592	2.556	2.651	2.651	2.452
細砂	3.50	2.589	2.545	2.661	2.661	1.315
RJ-T	0.25				0.941	0.266
$\Sigma ② =$ 103.55					$\Sigma ⑤ =$ 40.814	

⑥ アスファルト量 (%)	⑦ アスファルトの 密 度	⑧ ⑥/⑦	⑨ $\Sigma ⑤$	⑩ $⑧+⑨$	⑪ 理論最大密度 ( $\Sigma ②+⑥$ ) /⑩
1.16	1.037	1.119	40.814	41.933	2.497
1.71		1.649	40.814	42.463	2.479
2.27		2.189	40.814	43.003	2.461
2.83		2.729	40.814	43.543	2.443
3.40		3.279	40.814	44.093	2.426
2.38		2.295	40.814	43.109	2.457

# マーシャル安定度試験

目的 配合設計 (室内)

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(13) (ECOフォームトッ)

試験者 大西 康夫

アスファルトの種類 再生アスファルト(60-80) アスファルトの密度(A) 1.037 アスファルトの温度 160 ℃ 骨材の温度 210 ℃

突固め温度 140 ℃ 突固め回数 50 回 力計の係数(B) 0.1187

供 試 体 条 件 番 号	供 試 体 ア ス フ アル ト 量 %	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
		供試体寸法					空中 質 量 (g)	水 中 質 量 (g)	表 乾 質 量 (g)	密 度		ア ス フ アル ト 積 (cm <sup>3</sup> )	空 隙 率 (%)	骨 材 間 隙 率 (%)	飽 和 度 (%)	安 定 度		フ ロ ー 値 1/100 cm	窓 フ ロ ー 値 kN/m		
		厚さ(cm)								か さ (cm <sup>3</sup> )	理 論 (g/cm <sup>3</sup> )										
		1	2	3	4	平均				⑨ - ⑧	⑦ / ⑩					①×⑩ (A)	(1 - ⑪/⑫) ×100	⑬ + ⑭	⑭/⑯×100		
標準	4.5					6.36	1218.9	689.5	1219.9	530.4	2.298							54	6.41	31	
						6.38	1216.9	692.6	1217.8	525.2	2.317							51	6.05	27	
						6.38	1217.7	690.6	1218.7	528.1	2.306							46	5.46	28	
		平均										2.307	2.497	10.0	7.6	17.6	56.8		5.97	29	2059
標準	5.0					6.41	1224.2	703.0	1224.8	521.8	2.346							68	8.07	30	
						6.34	1224.8	698.8	1225.4	526.6	2.326							68	8.07	28	
						6.31	1224.2	700.1	1224.8	524.7	2.333							69	8.19	29	
		平均										2.335	2.479	11.3	5.8	17.1	66.1		8.11	29	2797
標準	5.5					6.38	1231.9	710.5	1232.3	521.8	2.361							76	9.02	34	
						6.42	1230.8	712.6	1231.3	518.7	2.373							82	9.73	30	
						6.37	1228.1	706.0	1228.6	522.6	2.350							80	9.50	31	
		平均										2.361	2.461	12.5	4.1	16.6	75.3		9.42	32	2944
標準	6.0					6.43	1237.5	717.8	1237.8	520.0	2.380							82	9.73	37	
						6.26	1234.6	712.6	1234.9	522.3	2.364							73	8.67	36	
						6.36	1234.3	714.7	1234.6	519.9	2.374							78	9.26	33	
		平均										2.373	2.443	13.7	2.9	16.6	82.5		9.22	35	2634
標準	6.5					6.35	1242.0	717.8	1242.1	524.3	2.369							67	7.95	39	
						6.29	1240.2	721.0	1240.3	519.3	2.388							66	7.83	38	
						6.35	1241.2	717.6	1241.3	523.7	2.370							67	7.95	43	
		平均										2.376	2.426	14.9	2.1	17.0	87.6		7.91	40	1978

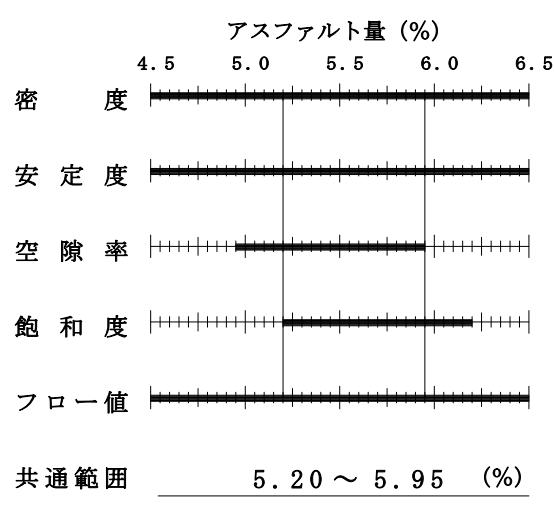
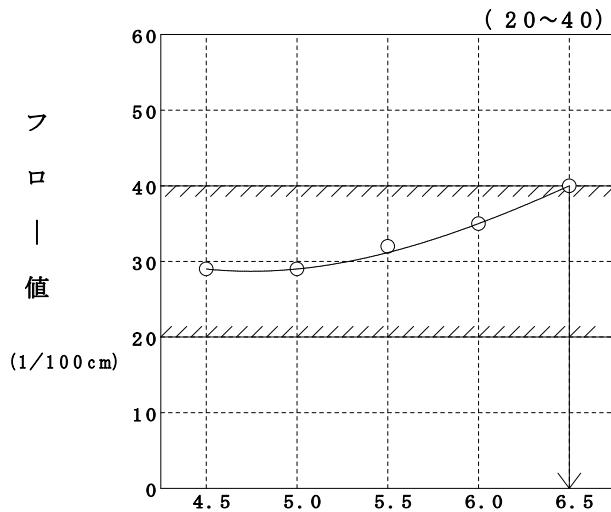
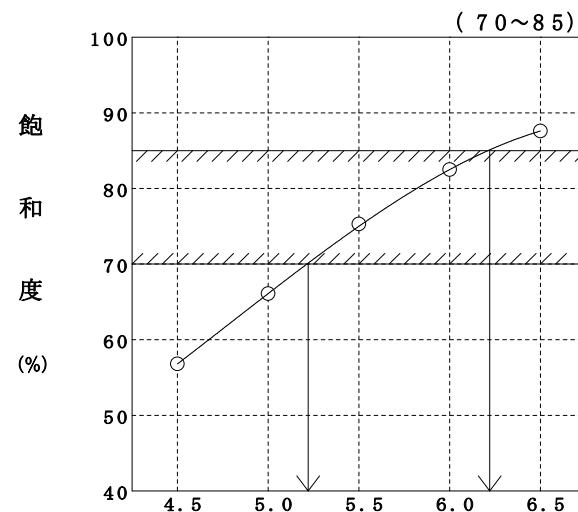
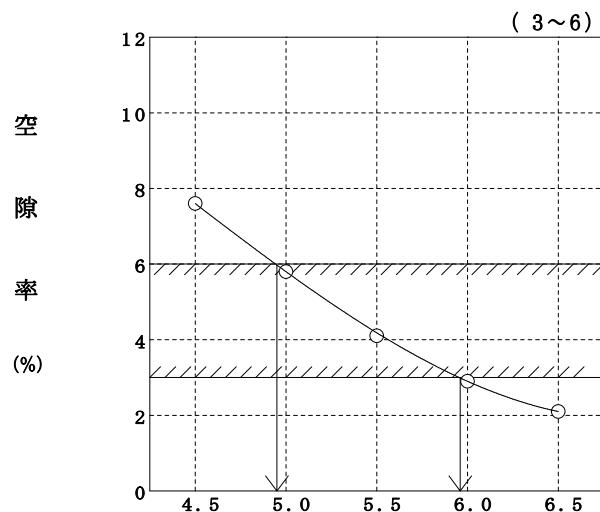
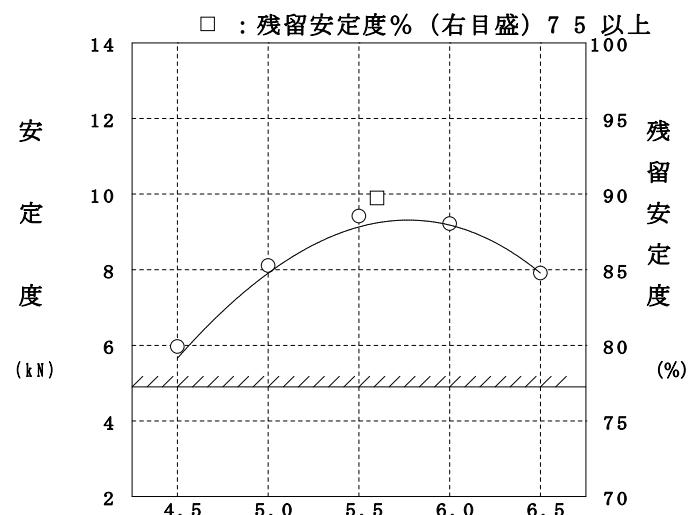
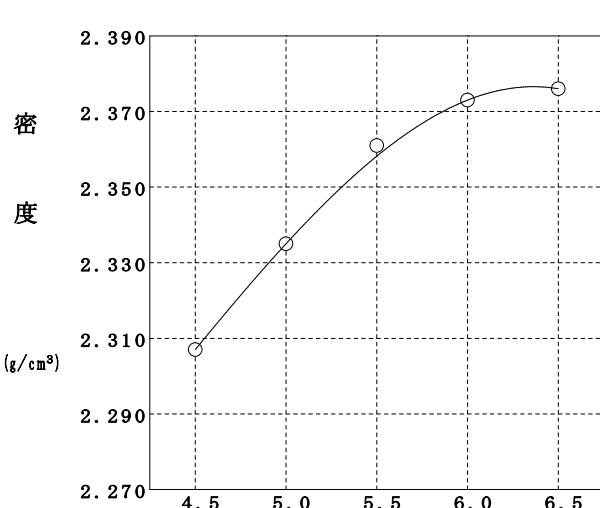
# 設計アスファルト量の決定

目的 配合設計（室内）

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(13)(ECOフォームト<sup>®</sup>)

試験者 大西 康夫



# 殘留安定度試驗

## 目 的 配 合 設 計 ( 殘留 )

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(13)(ECOフォームト<sup>®</sup>)

試験者 大西 康夫

アスファルトの種類 再生アスファルト(60-80) アスファルトの密度(A) 1.037 アスファルトの温度 160 ℃ 骨材の温度 210 ℃

突 固 め 温 度 140 °C 突 固 め 回 数 50 回 力計の係数 (B) 0.1187

# ホットビン粒度設計（修正後）

目的 配合設計（現場）

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(13) (ECOフォームト<sup>®</sup>)

試験者 大西 康夫

## 3. 使用予定骨材の合成粒度 修正後

骨材	1ビン	2ビン	3ビン	再生骨材	回収ダスト			
配合率 A %	17.0	4.5	7.5	70.0	1.0			
通過質量百分率 B %	53 mm							
	37.5							
	31.5							
	26.5							
	19		100.0					
	13.2	100.0	99.2	100.0				
	9.5							
	4.75	100.0	82.4	0.2	66.8			
	2.36	95.5	0.5		44.5			
	1.18							
	600 μm	44.4		30.2	100.0			
	300	28.2		20.3	99.0			
	150	4.4		12.0	87.9			
	75	1.5		9.1	68.4			

## 各骨材のふるい目の大きさ別配合率 (A) × (B)

合成 設計

53 mm								
37.5								
31.5								
26.5								
19		7.5					100.0	100.0
13.2	4.5	7.4	70.0				99.9	99.9
9.5								
4.75	17.0	3.7	0.0	46.8			68.5	68.1
2.36	16.2	0.0		31.2			48.4	47.7
1.18								
600 μm	7.5		21.1	1.0			29.6	29.6
300	4.8		14.2	1.0			20.0	19.0
150	0.7		8.4	0.9			10.0	9.5
75	0.3		6.4	0.7			7.4	7.2

## 4. 骨材の密度による配合率の補正

骨材								計	
① 配合率									
② 密度									
③ = ① × ②									
補正配合率 ③ / 計 × 100									

# ホットビンの粒径加積曲線図

目的 配合 設計 ( 現場 )

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(13)(ECOフォームト<sup>®</sup>)

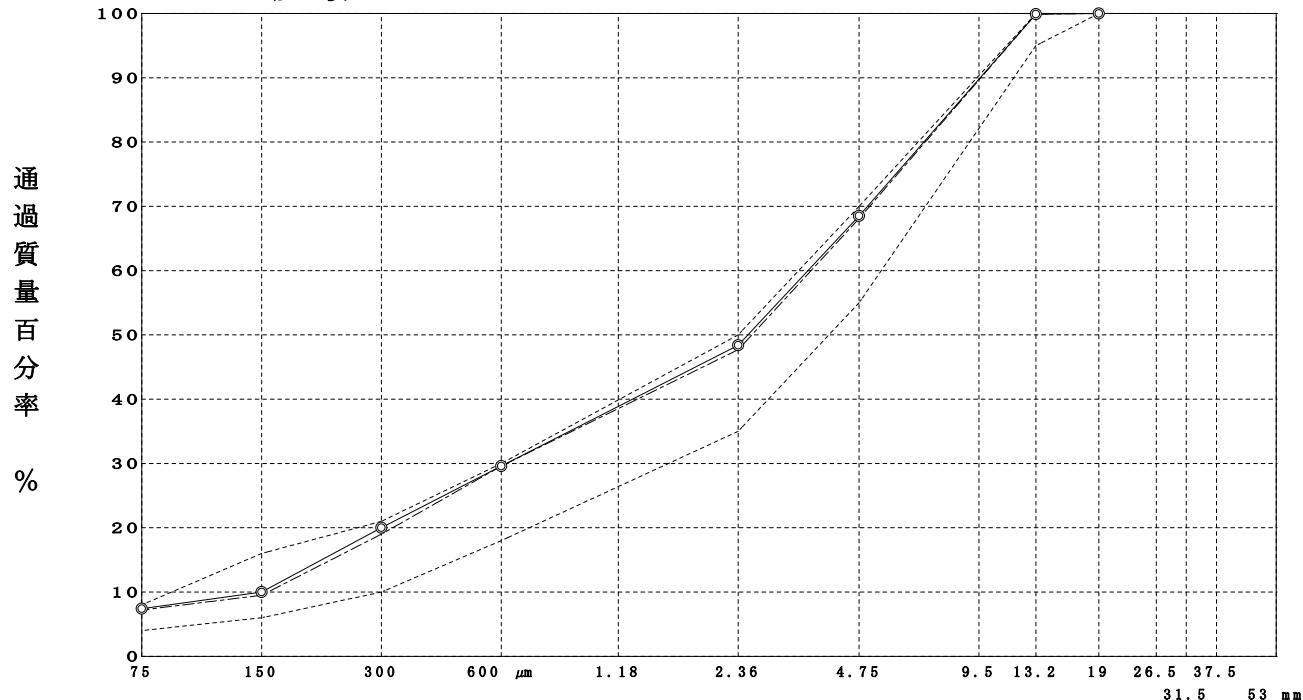
試験者 大西 康夫

## 5. 合成粒度

ふるい目	合成粒度		目標粒度	粒度範囲
	作図法	修正後		
53 mm				
37.5				
31.5				
26.5				
19	100.0	100.0	100.0	100
13.2	99.8	99.9	99.9	95 ~ 100
9.5				
4.75	67.7	68.5	68.1	55 ~ 70
2.36	45.2	48.4	47.7	35 ~ 50
1.18				
600 $\mu\text{m}$	27.8	29.6	29.6	18 ~ 30
300	21.2	20.0	19.0	10 ~ 21
150	11.7	10.0	9.5	6 ~ 16
75	8.6	7.4	7.2	4 ~ 8

## 6. 粒径加積曲線図

----- 粒度範囲  
----- 目標粒度  
——— 修正後



ふるい目

## 理 論 最 大 密 度 計 算 表

## 目的配合設計

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(13)(ECOフォームト<sup>®</sup>)

試験者 大西 康夫

骨材の種類	A 骨材のみ	B(旧アスファルト含む)
碎石6号	9.0	9.00
再生骨材	70.0	73.30
碎石7号	3.5	3.50
碎砂	7.5	7.50
粗砂	6.5	6.50
細砂	3.5	3.50
計	100.0	103.30
設計針入度 1/10mm		
旧アスファルト量 (外割%)		3.30
再生用添加剤量 (対アスファルト量) %		7.70
再生用添加剤量 (対再生混合物) (外割%)		0.25
再生アスファルト量 (%)	5.6	
再生アスファルト量 (外割%)	5.93	
旧アスファルト量 (外割%)	3.30	
再生用添加剤量 (外割%)	0.25	
新アスファルト量 (外割%)	2.38	

# 理 論 最 大 密 度 計 算 表

## 目的配合設計

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(13)(ECOフォームト<sup>®</sup>)

試験者 大西 康夫

①	②	③				④	⑤
骨材の種類	配合率(%)	骨材の密度(g/cm <sup>3</sup> )				計算に用いる密度	②/④
		表乾	かさ	見掛け			
碎石6号	9.00	2.682	2.662	2.717	2.717	3.312	
再生骨材	73.30				2.491	29.426	
碎石7号	3.50	2.674	2.648	2.718	2.718	1.288	
碎砂	7.50	2.646	2.602	2.722	2.722	2.755	
粗砂	6.50	2.592	2.556	2.651	2.651	2.452	
細砂	3.50	2.589	2.545	2.661	2.661	1.315	
RJ-T	0.25				0.941	0.266	
$\Sigma$ ②=	103.55				$\Sigma$ ⑤=	40.814	

# マ 一 シ ャ ル 安 定 度 試 験

## 目的配合設計（現場）

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(13)(ECOフォームト<sup>®</sup>)

試験者 大西 康夫

アスファルトの種類 再生アスファルト(60-80) アスファルトの密度(A) 1.037 アスファルトの温度 160 ℃ 骨材の温度 200 ℃

突 固 め 温 度 140 °C 突 固 め 回 数 50 回 力計の係数 (B) 0.1187

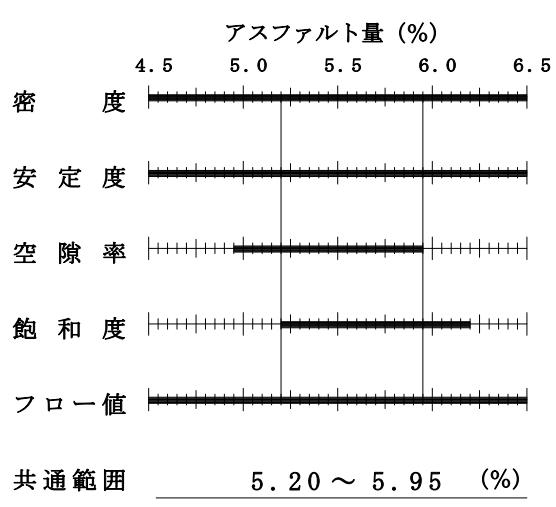
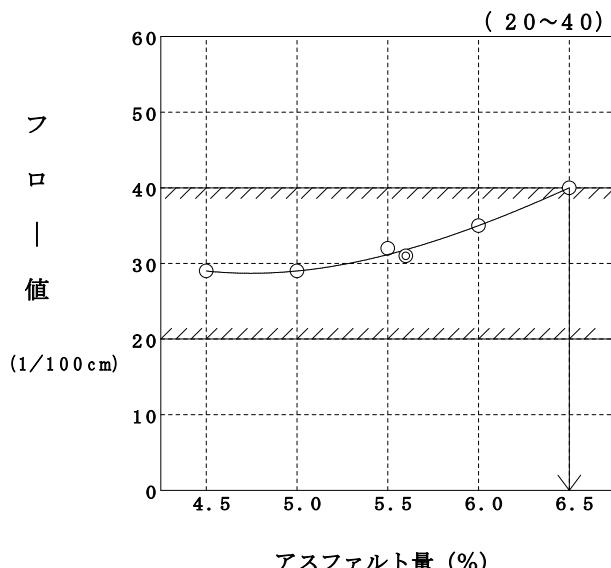
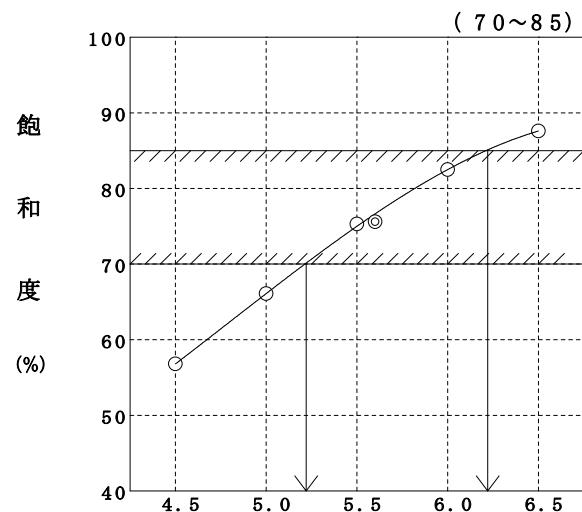
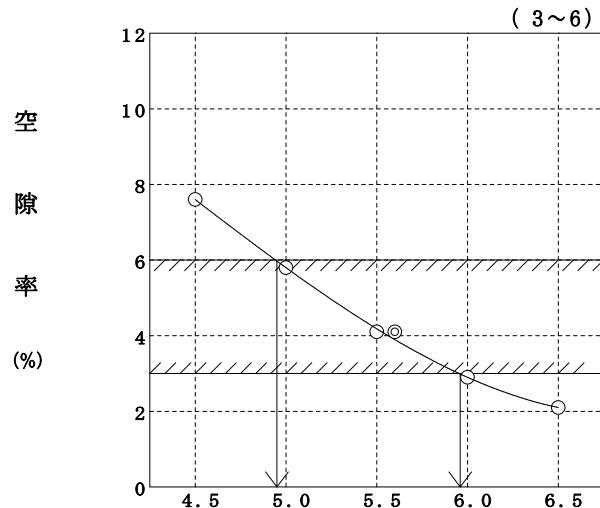
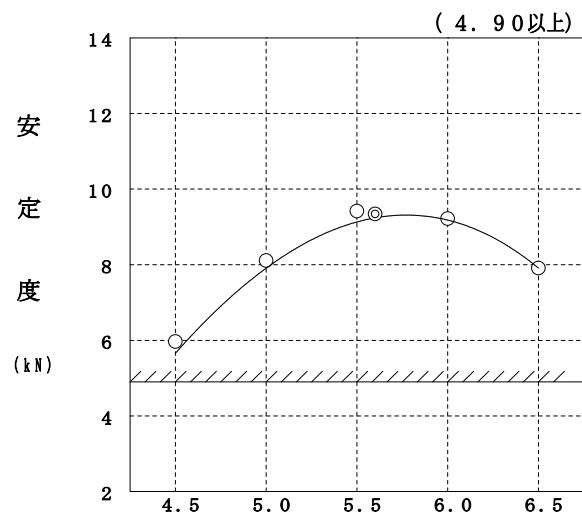
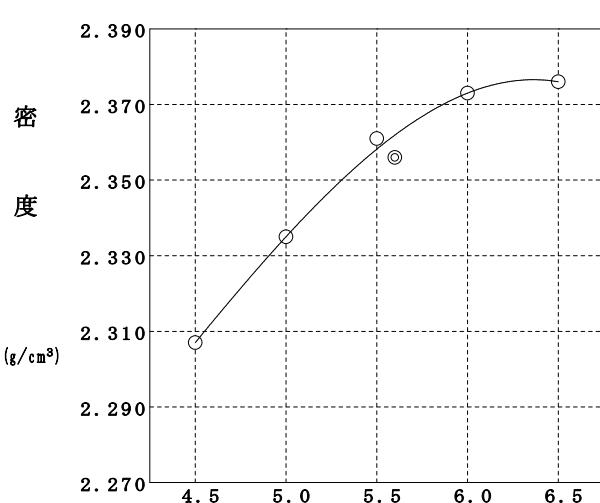
# マーシャル安定度試験

目的配合設計（現場）

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(13)(ECOフォームト<sup>®</sup>)

試験者 大西 康夫



設計アスファルト量 5.6 (%)

# 現場 マーシャル安定度試験 (中温化)

目的 配合 設計 (現場 中温化)

試験年月日 2025年 2月 14日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(13) (ECOフォームト<sup>®</sup>)

試験者 大西 康夫

アスファルトの種類 再生アスファルト(60-80) アスファルトの密度(A) 1.037 アスファルトの温度 160 °C

骨材の温度 200 °C 突固め温度 - °C 突固め回数 50 回 力計の係数(B) 0.1187 kN

試験 件号	供試 体番	① 突 固 め 温 度 (°C)	② 供 試 体 平 均 厚 (cm)	③ 空 中 質 量 (g)	④ 水 中 質 量 (g)	⑤ 表 乾 質 量 (g)	⑥ 容 積 (cc)	密 度		ア容 ス フ アル ト 積 (g/cm³)	空 隙 率 (%)	骨 材 間 隙 率 (%)	飽 和 度 (%)	安 定 度		フ ロ ー 力 計 の 読 み	1/100 cm	安 定 度 /フ ロ ー 値 (kN/m)	
								か	理					⑦ ⑧	⑨ ⑩	⑪ ⑫			
								⑤-④	③/⑥					①×⑦ (A)		⑨+⑩ ⑩×100		(B) × ⑩	
	1	As量 5.6	140	6.27	1225.4	709.0	1226.0	517.0	2.370								81	9.61	31
	2			6.44	1226.8	707.3	1227.4	520.1	2.359								75	8.90	31
	3			6.31	1227.4	709.9	1228.0	518.1	2.369								81	9.61	34
		平均								2.366	2.457	12.8	3.7	16.5	77.6		9.37	32	2928
	4	As量 5.6	130	6.31	1224.6	704.5	1225.2	520.7	2.352								80	9.50	30
	5			6.27	1227.1	710.5	1227.6	517.1	2.373								78	9.26	30
	6			6.27	1225.9	706.5	1226.4	519.9	2.358								78	9.26	33
		平均								2.361	2.457	12.7	3.9	16.6	76.5		9.34	31	3013
	7	As量 5.6	120	6.41	1226.3	709.1	1227.0	517.9	2.368								82	9.73	30
	8			6.40	1225.9	703.5	1226.4	522.9	2.344								76	9.02	34
	9			6.39	1225.5	706.2	1226.1	519.9	2.357								77	9.14	33
		平均								2.356	2.457	12.7	4.1	16.8	75.6		9.30	32	2906
	10	As量 5.6	110	6.31	1228.1	705.7	1228.7	523.0	2.348								74	8.78	28
	11			6.26	1227.4	703.2	1228.0	524.8	2.339								80	9.50	32
	12			6.42	1224.5	703.2	1225.2	522.0	2.346								77	9.14	31
		平均								2.344	2.457	12.7	4.6	17.3	73.4		9.14	30	3047
		平均																	

$$\textcircled{10} = (1 - \textcircled{7}/\textcircled{8}) \times 100$$

# 現場 混合物の突固め温度下限値の確認

目的 配合設計(現場 中温化)

試験年月日 2025年 2月14日

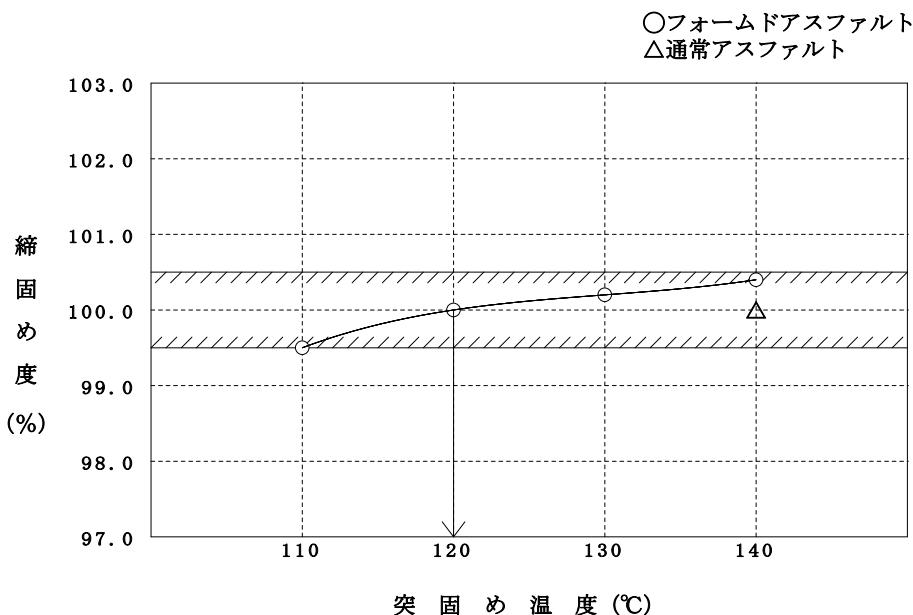
混合物の種類 再生密粒度アスコン(13)(ECOフォームト<sup>®</sup>)

試験者 大西 康夫

フォームドアスファルト使用時の混合物にて、突固め温度を変化させた供試体密度を測定し、締固め度から突固め温度下限値を決定するとともに、混合物性状確認を行う。

締固め度は、フォームドアスファルト未使用の通常アスファルト時に決定した突固め温度で作製した供試体の密度を基準密度とする。

項目				理論密度 (g/cm <sup>3</sup> )	密度 (g/cm <sup>3</sup> )	空隙率 (%)	飽和度 (%)	安定度 (kN)	フロー値 (1/100cm)	締固め度 (%)
中温化	突固め温度	As量	規格	—	—	3~6	70~85	4.90以上	20~40	—
未使用	140 °C	5.6 %	—	2.457	2.356	4.1	75.6	9.34	31	100.0
	140 °C		—	2.457	2.366	3.7	77.6	9.37	32	100.4
	130 °C		—	2.457	2.361	3.9	76.5	9.34	31	100.2
	120 °C		—	2.457	2.356	4.1	75.6	9.30	32	100.0
	110 °C		—	2.457	2.344	4.6	73.4	9.14	30	99.5



グラフより、

締固め度100.0%が得られる突固め温度は120°Cとなった。

締固め度99.5%~100.5%が得られる突固め温度は110°C~140°Cとなった。

## 現場 突固め下限温度でのマーシャル安定度試験

## 目 的 配 合 設 計 (現場 突固め下限温度)

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(13)(ECOフォームト<sup>®</sup>)

試験者 大西 康夫

## アスファルトの種類 再生アスファルト(60-80)

アスファルトの密度 (A) 1.037 アスファルトの温度 160 °C

骨材の温度 190 °C 突固め温度 120 °C 突固め回数 50 回 力計の係数 (B) 0.1187 kN

$$\textcircled{10} = (1 - \textcircled{7}/\textcircled{8}) \times 100$$

# 現場配合の決定

目的配合設計

試験年月日 2025年 2月14日

混合物の種類 再生密粒度アスコン(13)(ECOフォームト<sup>®</sup>)

試験者 大西 康夫

1バッチ 1000 kg

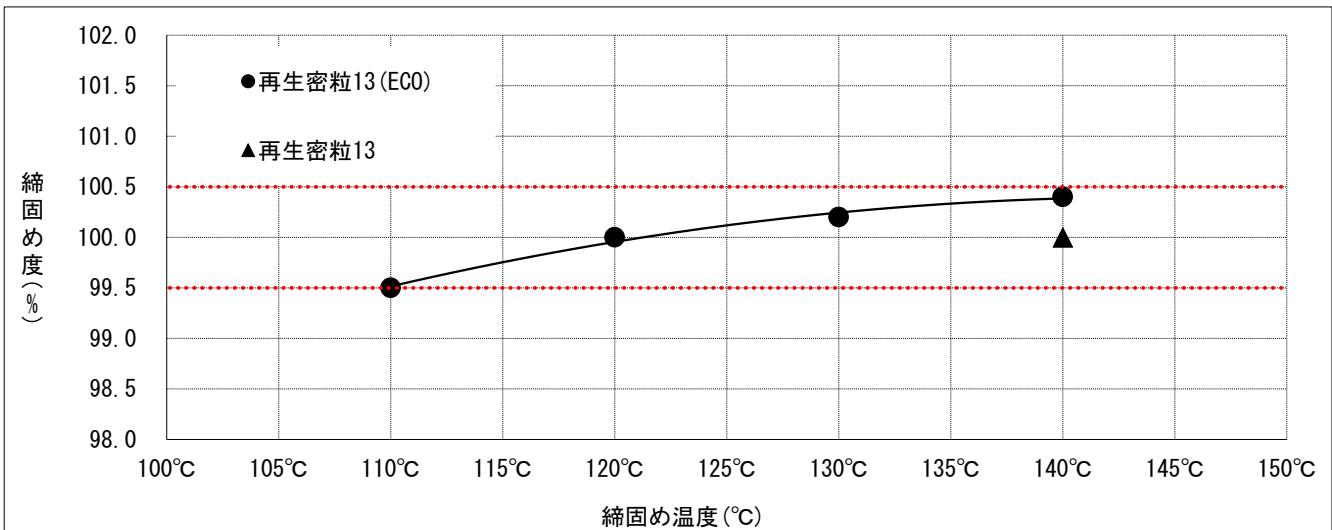
	骨材配合比(%)	外割配合比(%)	内割配合比(%)	1バッチ質量(kg)	骨材累加質量(kg)
1 ビン	17.0	17.00	16.05	161	161
2 ビン	4.5	4.50	4.25	43	204
3 ビン	7.5	7.50	7.08	71	275
回収ダスト	1.0	1.00	0.94	9	9
再生骨材	70.0	73.30	69.20	694	694
旧アスファルト		( 3.30 )	( 3.12 )		
再生用添加剤		0.25	0.24		
新アスファルト		2.38	2.24	22	22
合計	100.0	105.93	100.00	1000	1000

※添加剤はドライヤ内添加のため  
再生材の計量値に含まれます。

## フォームド混合物の温度管理目標値一覧

### 混合物の締固め特性

項目	規格値	混合物の種類					
		再生密粒13	再生密粒13(ECO)				
締固め温度	°C	-	140°C	140°C	130°C	120°C	110°C
密度	g/cm³	-	2.356	2.366	2.361	2.356	2.344
締固め度	%	-	100.0	100.4	100.2	100.0	99.5
空隙	%	3~6	4.1	3.7	3.9	4.1	4.6
安定度	kN	4.90以上	9.34	9.37	9.34	9.30	9.14
フロー	1/100cm	20~40	31	32	31	32	30



### 温度管理目標値

	低 減 温 度	°C	0	10	20	30
夏季	出 荷 温 度	°C	160±10	150±10	140±10	130±10
	敷 均 温 度	°C	140以上	130以上	120以上	110以上
	初 期 転 壓 温 度	°C	140±10	130±10	120±10	110±10
冬季	出 荷 温 度	°C	160±10	150±10	140±10	130±10
	敷 均 温 度	°C	140以上	130以上	120以上	110以上
	初 期 転 壓 温 度	°C	140±10	130±10	120±10	110±10

※上記の温度管理目標値につきましては、当プラントの推奨する温度であり、規格値ではありませんのでご注意下さい。

※現場条件（現場までの距離・施工方法・気象条件）等が異なるため、温度範囲につきましては、所定の締固め度が得られる範囲内で、各現場毎に検討して下さい。